

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成21年10月22日 (2009.10.22)

【公表番号】特表2009-515529(P2009-515529A)

【公表日】平成21年4月16日 (2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-540260(P2008-540260)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 37/02

A 6 1 P 13/12

【手続補正書】

【提出日】平成21年8月31日 (2009.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

プロモーターに作動的に連結された、B M P - 7 ポリペプチドをコードする核酸配列を含む組換えプラスミドベクターであって、前記 B M P - 7 ポリペプチドが、ブレブロ B M P - 7 ポリペプチド、プロ B M P - 7 ポリペプチド、及び成熟 B M P - 7 ポリペプチドからなる群から選択されるか、又は

前記 B M P - 7 ポリペプチドが、配列番号 3 並びに B M P - 7 活性を有するその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるアミノ酸配列を有する組換えプラスミドベクター。

【請求項 2】

B M P - 7 ポリペプチドをコードする核酸配列が、配列番号 1、配列番号 2、並びに B M P - 7 活性を有するポリペプチドをコードするその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択される請求項 1 に記載の組換えプラスミドベクター。

【請求項 3】

B M P - 7 ポリペプチドが、B M P - 7 シグナル配列、I G F - 1 シグナル配列、及び t P A シグナル配列からなる群から選択されるシグナルペプチドを含むか、又は

前記シグナルペプチドが、配列番号 4、配列番号 6、配列番号 8、配列番号 11、並びにシグナルペプチド活性を有するペプチドをコードするその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるヌクレオチド配列によりコードされるか、又は

前記シグナルペプチドが、配列番号 5、配列番号 7、配列番号 9、配列番号 12、並びにシグナルペプチド活性を有するその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるアミノ酸配列を有する、請求項 1 又は 2 に記載の組換えプラスミドベクター

。

【請求項 4】

プラスミドがpNB292であり、配列番号 10 のヌクレオチド配列を有する、又は  
プラスミドがVR1012プラスミドに挿入された、BMP-7ポリペプチドをコードする核  
酸配列を含む請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の組換えプラスミドベクター。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の組換えプラスミドベクター及び、任意で少なくとも 1  
つの薬学的に又は獣医学的に許容される担体、賦形剤、又は媒体を含む医薬組成物。

【請求項 6】

腎不全に罹患している又はそれを発症する危険性がある哺乳動物被検体（ヒトを除く）  
を処置する方法であって、プロモーターに作動的に連結された、BMP-7ポリペプチド  
をコードする核酸配列を含有する、治療上有効な量のプラスミドを前記哺乳動物被検体に  
投与することを含む方法。

【請求項 7】

腎不全を発症する危険性がある哺乳動物被検体（ヒトを除く）において、腎不全の発症  
を予防する方法であって、プロモーターに作動的に連結された、BMP-7ポリペプチド  
をコードする核酸配列を含有する、予防的に有効な量のプラスミドベクターを前記哺乳動  
物被検体に投与することを含む方法。

【請求項 8】

BMP-7ポリペプチドが、プレプロBMP-7ポリペプチド、プロBMP-7ポリペ  
プチド、及び成熟BMP-7ポリペプチドからなる群から選択されるか、又は

BMP-7ポリペプチドが、配列番号 3 並びにBMP-7活性を有するその断片、変異  
体、誘導体、及びホモログからなる群から選択されるアミノ酸配列を有する請求項 6 又は  
7 に記載の方法。

【請求項 9】

BMP-7ポリペプチドをコードする核酸配列が、配列番号 1、配列番号 2、並びにB  
MP-7活性を有するポリペプチドをコードするその断片、変異体、誘導体、及びホモロ  
グからなる群から選択される請求項 6 又は 7 に記載の方法。

【請求項 10】

BMP-7ポリペプチドが、シグナルペプチドを含み、前記シグナルペプチドが、BM  
P-7シグナル配列、IGF-1シグナル配列、及びtPAシグナル配列からなる群から  
選択されるか、又は

前記シグナルペプチドが、配列番号 5、配列番号 7、配列番号 9、配列番号 12、並び  
にシグナルペプチド活性を有するその断片、変異体、誘導体、及びホモログからなる群か  
ら選択されるアミノ酸配列を有するか、又は

前記シグナルペプチドが、配列番号 4、配列番号 6、配列番号 8、配列番号 11、並び  
にシグナルペプチド活性を有するペプチドをコードするその断片、変異体、誘導体、及び  
ホモログからなる群から選択されるヌクレオチド配列によりコードされる、請求項 6 ~ 9  
のいずれかに記載の方法。

【請求項 11】

プラスミドが、pNB292であり、配列番号 10 のヌクレオチド配列を有するか、又は

プラスミドが、VR1012プラスミドに挿入された、BMP-7ポリペプチドをコードする  
核酸配列を含む、請求項 6 ~ 10 のいずれかに記載の方法。

【請求項 12】

BMP-7ポリペプチドが、哺乳動物被検体（ヒトを除く）中でインビボで発現する請  
求項 6 ~ 11 のいずれかに記載の方法。

【請求項 13】

哺乳動物被検体（ヒトを除く）が、ネコ科の動物及びイヌ科の動物からなる群から選  
択される請求項 6 ~ 12 のいずれかに記載の方法。

【請求項 14】

哺乳動物被検体（ヒトを除く）が、イヌ科の動物である請求項 6 ~ 12 のいずれかに記  
載の方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】配列表

【補正方法】変更

【補正の内容】

【配列表】

2009515529000001.app